

# 婚姻届記入例

## 婚姻届

令和5年4月1日届出  
徳島県小松島市長 殿

◎本籍地と違う役場へ提出される場合は、戸籍謄本(戸籍全部事項証明)が必要になります。  
◎時間外・休日に出される場合は、前日までに戸籍担当課で事前審査を受けておいて下さい。  
◎消せるボールペンや鉛筆などで記入しないようにお願いします。

(※新住所が届出地と同じ場合のみ)  
婚姻届と同時に住所変更される方は新住所を記入し、住所変更届をしてください。

(1)	氏名	夫になる人 小松島 太郎	妻になる人 花 みずき
	生年月日	平成元年 5月 5日	平成2年 3月 3日
(2)	住所	徳島県小松島市横須町 1番1号	徳島県徳島市幸町2丁目 5番地
	本籍	徳島県小松島市立江町 字清水184	香川県高松市番町1丁目 8番
(3)	父母及び養父母の氏名	父 港 父介	父 花 父郎
	母との続柄	母 港 母美	母 花 母子
	養父	小松島 父男	花 父也
	養母	小松島 母代	花 母恵
(4)	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	新本籍 (夫の氏の人かすでに戸籍の筆頭者となっているときだけ書かなくてください) 徳島県小松島市横須町 1番地	
(5)	同居を始めたとき	令和元年 5月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)	
(6)	初婚・再婚の別	初婚 再婚 (死別・離別) 年 月 日 初婚 再婚 (死別・離別) 平成30年 11月 24日	
(7)	同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の従業員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯 <small>(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出するときだけ書いてください)</small>	
	(8)	夫妻の職業	夫の職業 02   妻の職業 02
その他			
届出人署名		夫 小松島 太郎 印	妻 花 みずき 印
事件簿番号		住定年月日 夫 年 月 日 妻 年 月 日	

証人		人	
署名 (※押印は任意)	小松島 父男 印	山桃 木実 印	
生年月日	昭和21年 8月 2日	昭和55年 7月 15日	
住所	徳島県小松島市横須町 1番1号	徳島県鳴門市撫養町 南浜字東浜170番地	
本籍	徳島県小松島市立江町 字清水184 番地 1号	徳島県小松島市坂野町 字平田24 番地 2号	

証人は婚姻の事実を知っている人で、成人された方であればどなたでも結構です。証人2名の署名が必ず必要になります。

婚姻前の本籍と筆頭者の氏名をそれぞれ記入してください。

実父母及び養父母の氏名を記入してください。(亡くなられていても記入してください。) また、離婚その他で父母の氏が変わるときは、変更後の氏を記入して下さい。他にも養父母がいる場合は、その他欄に「(例)夫の養父 港 父一 続柄 養子」の様に養父母の氏名等を記入してください。

どちらの「氏」を称して婚姻するか選択してください。婚姻されると、夫婦で新しい戸籍ができます。どこに新しい本籍をおくのかを定め、ご記入ください。 ※ただし、すでに戸籍の筆頭者になっている方の氏を称する場合は、新しい戸籍はできませんので、新本籍は記入しないでください。

初婚か再婚かを選択してください。再婚の場合、直前の解消事由(死別・離別)とその年月日を記入してください。(内縁は含みません)

国勢調査(2025年、2030年、2035年...)の年のみご記入ください。別紙、職業例示表から番号を選択し記入してください。

必ず屋間に連絡のつく電話番号を記入してください。新婚旅行などで長期不在の場合は、連絡できる実家等の電話番号を記入してください。

婚姻前の氏(旧性)で本人が署名してください。

連絡先  
電話 (0885) 32-2112  
自宅 勤務先・呼出 方